

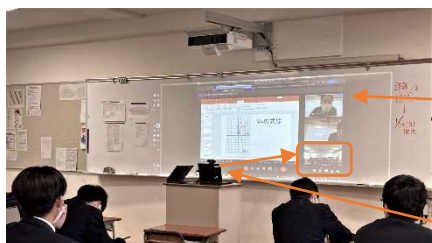


新型コロナウイルスの感染者数が増え、1月18日から、米子市・境港市・西伯郡に「特別警報」が発令されました。これを受け、西部地区の学校では密にならない学習環境を実現するため、臨時休業としてオンライン授業を行うか、分散登校を行うこととなりました。

学びを続ける分割授業

米工では分散登校でおよそ半数のクラスが登校し、それぞれのクラスが密を避けるため2教室に分かれてオンラインを活用しながら授業を行う分割授業を実施しています。登校日はマチコミメールで先日お知らせしていますので確認してください。

さっそく、教職員もオンライン授業を実施するための機器の扱い方を再確認し、分割授業を実施しました。



パソコンのカメラで先生の顔を写しています

このパソコンの画面を両教室に投影しています

先生は、もう一方の教室の様子をこのカメラで確認



教室が分かれているため、生徒の演習や理解度を把握するのにそれぞれの先生がいろいろなアプリケーションソフトウェアを試しています。先生方の取組状況の情報が広がり、授業に使えるアプリの種類も増えてきました。しかし、使い方を把握したつもりでも、いざ使ってみると想定外のトラブルがつきものです。先生同士で協力しながら使い方を改善しています。また、生徒の反応から今後の授業の展開方法にヒントを得ることもあります。先生も新しい学びの環境にチャレンジしています。生徒のみなさんも気づいたことがあれば先生に伝えてください。共にコロナに負けず頑張りましょう。

テレビで医師がオミクロン株に対しては特に空気感染を警告されていました。寒い時期ですが、しっかりと換気をしながら授業を受け、感染防止に努めてください。鼻まで隠した正しいマスクの着用や大声を出さないなど、お互いのために意識して生活しましょう。



先生たちの研修風景



先生も分散して研修しました

家庭内での感染対策

- 鳥取県のホームページより抜粋-
- 家に帰ったら「まずは手洗い」
- 親しき仲にもマスクあり
- タオルは個別で使用しましょう
- 食べ物や食器の共有を避けましょう
- 他の家族との部屋を分けましょう

校長 松川明義